

◆ 予算編成の基本姿勢 ◆

1 「都市の成長」を「生活の質の向上」に

- ・市民とともに策定した「未来の設計図」である総合計画を推進
- ・国内外で存在感の増している福岡の活力を生かし、生活の質を向上

2 豊かでいきいきと人が輝くまちづくり

- ・中長期的な都市戦略に軸足を移し、新しい時代のまちづくりに挑戦
- ・まちの主人公である「人」を育み、その「絆」や活躍の「場」づくりを推進

3 行財政改革の着実な推進

- ・総合計画に沿った施策・事業を着実に進めるため「優先順位の最適化」を推進
- ・政策推進と行財政改革の連動により、重要施策を推進し、新たな課題にも対応

人 を育む みんながやさしく、心豊かに暮らす  
 まちの主人公である「人」を育み、その「絆」や活躍の「場」づくりを推進  
 絆 を結ぶ 互いにふれあい、みんながつながる

～次代を担う人材を健やかに育むまち・ふくおか～

～見守り、支えあい、笑顔あふれるまち・ふくおか～

**子ども**

☆スクールソーシャルワーカーの倍増(12名→24名)

いじめ、不登校等の問題を解決するため、教育と福祉の両面から支援を行うスクールソーシャルワーカーを倍増

**ユニバーサル都市**

☆ハンズステップバス導入促進のための補助拡充(4台分→96台分)

☆障がいのある児童が通う新たな児童発達支援センターの整備費助成(H27年度開設を目指す)

☆多様な保育サービスの提供で、子育てを支援(パートタイム勤務などに対応できる柔軟な保育サービスや一時預かり事業、病児・病後児デイケアの拡充等)

**安心マナー**

☆モラル・マナー推進員「パトナビ」を新設

都心部を中心に自転車安全利用等の啓発を行う推進員を増員し(16名→30名)、新たに道案内等も実施

**健康づくりスポーツ**

☆市民参加型フルマラソン大会「福岡マラソン2014」の開催(11月9日)

☆健康づくり活動をポイント化し、賞品として還元する仕組みを試行

☆今津運動公園への野球場の新設、雁の巣球場の改修により、市民がスポーツに親しめる環境を整備

**地域コミュニティ**

☆地域デビューの応援

自治会・町内会が行う活動に参加したことのない住民を呼び込むための取組を支援するとともに様々なノウハウを有し助言等を行う地域活動アドバイザーを派遣

**地域福祉**

☆徘徊高齢者等ネットワークを福岡都市圏に拡大

徘徊高齢者の早期発見・保護のため、協力事業者・サポーターにメールで一斉配信する「徘徊高齢者捜してメール」の都市圏への拡大

☆地域によるアルミ缶の集団回収報奨金を10倍に

☆地域防犯パトロールカーの燃料費の一部助成

☆医療、介護、福祉等をコーディネートする地域包括ケアシステムの構築を推進

**公民館ミニ図書館事業**

本を新しいコミュニティ活動のきっかけとした、より身近な公民館を目指し、市内事業者との協力で、古本を公民館に配架(20館)

☆いきいきセンターふくおかの相談体制強化(H26年度は相談員を5名増員、H27年度は39か所→57か所へ増設予定)

☆まつりや昔の街並みなど、地域に眠る「お宝写真」を募集し、公民館等で展示

☆地域の高齢化に関する課題発見、生活支援サービスの担い手づくりで高齢者の暮らしをサポート

☆「地域活動の担い手」を養成する学びの場づくりをNPOと共働で実施

☆小学生向けの自治会活動のPRパンフレットを作成し授業に取り入れることで、地域活動への意識を醸成

**地域防災**

☆災害時要援護者避難支援対策の促進

・市民向け要援護者支援ハンドブックの改訂

・地域向け避難支援取組マニュアルの作成等

場 を創る  
 さまざまな人が出会い、活躍できる

～新たな挑戦を応援する元気なまち・ふくおか～

**起業・創業支援**

☆スタートアップカフェの開設

創業・起業に関心がある人たちが、誰でも気軽に立ち寄れる、コミュニティの核として「スタートアップカフェ」を開設

**女性・若者の活躍雇用確保**

☆女性の活躍を支援

・仕事と家庭の両立支援や意識改革、組織風土づくりを市役所が率先実施

・企業での女性プロジェクトの活動を支援

☆福岡の多様な人材と企業や海外都市が共にイノベーションを生み出す取組を支援

☆大学生に身近なWEBサイトを活用した、地元企業の魅力発信

☆子どものころから起業・創業を志す「チャレンジマインド」を醸成するため教育事業を実施

**MICE観光**

☆新しいMICEワンストップ体制の運営

MICEの誘致・受入、企画に特化した専門性の高いワンストップ体制を設置・運営

☆日本人大学生の留学を奨学金で支援しグローバル人材を育成、地場企業への就職や創業等を促進

☆コンベンションゾーンにおける第2期展示場の整備に向けた取組を推進

☆大河ドラマ「軍師官兵衛」に合わせた観光プロジェクトの展開や、福岡の夜の魅力の情報発信

<平成26年度予算の特徴>

- ・一般会計の規模は 7,763億円 (+167億円) ※前年比 2.2%増
- ・市税収入は企業収益の改善等により、過去最大の 2,759億円 (+72億円)
- ・社会保障に要する経費は引き続き増加 2,265億円 (+97億円)
- ・消費税率引き上げに際し、臨時福祉給付金(39億円)、子育て世帯臨時特例給付金(17億円)を給付し、公共事業費も確保(全会計で+125億円)

<行財政改革の取り組み>

- ・歳入確保、行政運営の効率化等により、52億円の財源を確保
- ・一般会計市債発行額は2年連続で前年度を下回る(▲2億円)
- ・市債残高を着実に減少(一般会計▲70億円、全会計▲146億円)
- ・財政調整基金の残高は2年連続で増加(H25当初予算比+28億円)
- ・公共施設等の計画的な改修・修繕(アセットマネジメント)経費を確保(全会計で+130億円)